



十小だより

令和 7 年 5 月 3 0 日
第 3 号
府中市立府中第十小学校

子どもたちの投票で購入した「カプラ」で熱中症予防要配慮期間を乗り切ろう！

校長 草刈 あずさ

5月の遠足、校外学習などは、暑い日もありましたが、活動中に子どもたちが体調を崩すことなく、終えることができました。6月は5年生のわくわく自然教室や3年生の社会科見学などもあります。安全に気を付けて行ってきたいと思います。

さて、昨年の夏も猛暑、酷暑でした。今年の夏はどうでしょうか。府中市立小・中学校は、6月から9月が熱中症予防要配慮期間として、熱中症予防を心掛けながら教育活動を行う期間となります。十小では、外遊びができない日、外遊びをしたくない子たちに向けて、室内遊びを充実させるための方法を考えてきました。

昨年度の代表委員会が、PTAの皆様のご協力によって集められたベルマークなどで熱中症の対策期間の室内遊びのために購入するものの候補をあげ、子どもたちによる投票によって「カプラ」という木材を積み上げる玩具を購入しました。

全学年が遊ぶ前に、現在、5・6年生が試行をしています。全校の子どもたちが遊ぶ時に気を付けた方がよいことや、管理をする環境委員会としてどんなことをするのかを考えてくれています。

カプラは、木材を積み上げて、好きなものをつくりあげるという創造力を生かす玩具であり、友達と協力しながら楽しめるものです。代表委員会の子どもたちがいい候補を挙げ、全校の子どもたちが、とても素晴らしいものを選んだことに感心します。

梅雨の時期も近づいています。カプラに限らず、読書などにも取り組み、室内遊びが充実していくとよいと思っています。

読書ということでは、タブレット端末が配布されてから、子どもたちが本を手にする機会が減っているように感じます。大人でも、電車内で本を読む人よりもスマホを見ている人が多いので、仕方のないことではありますが、カプラや体育館の割り当てがない日には、読書も楽しめるとうよいと思います。

今年度から、子どもたちのタブレット端末で、デジタル図書館の本を借りて読むことができるようになりました。興味のある方は、お子さんと一緒にどのような本が借りられるのかなど見ていただければと思います。

室内遊びを推奨する一方で、子どもたちの貴重な体験を止めたくないという思いがあります。そこで、十小では、各自で熱中症を防ぐことを第一に考え、塩分チャージタブレットやスポーツドリンク、ネッククーラー、日傘などを持参することを認めていますし、昇降口前のミストシャワーも増設しました。できる活動はできるだけやっけていき、コロナ禍で失った運動やかかわりの機会を戻したいと思いますので、ご家庭でもお子さんの健康管理をお願いします。